

嘉飯桂地域振興ビジョン



令和8年3月



福岡県

目次

I 基本的な考え方

II 現状と課題

III 地域の強み

IV 県の取組の方向性

V 今後の展望

I 基本的な考え方

1 策定の趣旨

嘉飯桂地域（飯塚市・嘉麻市・桂川町）は、2018年（平成30年）に策定した「嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、嘉飯桂地域全体で移住・定住促進に向けた都市機能及び生活機能の確保、充実を図っています。しかしながら、嘉飯桂地域は、人口減少と少子高齢化の進行が深刻であり、これを抑制する対策が喫緊の課題となっています。

本ビジョンは、高度な技術力を持つものづくり企業などの集積や充実した医療体制、豊かな自然・歴史文化といった嘉飯桂地域の魅力や特性を最大限に活かし、多様な世代が安心して働き、暮らし、絆を育める活力ある地域を目指すため、嘉飯桂地域の現状・課題を踏まえ、県としての取組の方向性をとりまとめたものです。

本ビジョンに基づき、市町における定住自立圏の取組を後押ししながら、嘉飯桂地域全体の振興を強力に推進していきます。

2 対象地域

飯塚市、嘉麻市、桂川町

3 位置づけ

「福岡県総合計画」の個別計画として、嘉飯桂地域の振興を強力に進めるために注力すべき取組を整理したものです。

4 計画期間

嘉飯桂地域における地域振興の中長期的な将来を見据え、2026(令和8)年度から2035(令和17)年度までの10年間とします。策定後も、福岡県総合計画や嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョンの改訂に応じて適宜見直しを行います。

Ⅱ 現状と課題

1 人口の減少

項目	状況・データ	課題
人口の推移	<p><u>2000年→2020年の人口増減率</u> 【総人口】 嘉飯桂：▲12.6%（県全体：+2.4%、全国：▲0.6%） 【年少人口】 嘉飯桂：▲22.4%（県全体：▲10.8%、全国：▲19.0%）</p> <p><u>2000年→2020年における65歳以上の高齢化率</u> 嘉飯桂：21.5% → 33.5% 県全体：17.4% → 27.2% 全 国：17.3% → 28.0% ※特に嘉麻市の高齢化率は40.4%と非常に高い。</p> <p><u>2020年における75歳以上の後期高齢化率</u> 嘉飯桂：16.6%（県全体：13.6%、全国：14.5%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な人口減少の流れと同様、人口減少と少子高齢化の進行が深刻
人口動態（自然増減・社会増減）	<p><u>2020年→2024年の人口動態</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年間で8,236人減少 ・自然減が社会減を上回る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然減の割合が高く、出生率向上に向けた対策が必要
15～49歳の女性の人口割合	<p><u>総人口に対する15～49歳の女性の割合</u> （2024年10月1日現在） 嘉飯桂：17.0% 県全体：19.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・15～49歳の女性の人口割合が低く、県全体に比べ少子化が加速する懸念がある

Ⅱ 現状と課題

2 経済活動の縮小

項目	状況・データ	課題
市町村民所得	<u>2000年度→2020年度の増減率</u> 嘉飯桂：▲13.7% 県全体：▲1.0%	<ul style="list-style-type: none">・ 嘉飯桂地域の市町村民所得の増減率は県平均を大きく下回る・ 地域経済の活性化に向けた取組が必要
労働生産性	<u>2021年の労働生産性</u> 嘉飯桂：3,385千円/人 県全体：4,331千円/人	<ul style="list-style-type: none">・ 労働生産性は県全体に比べ低い・ 高度な技術力を活用し、作業効率の向上や付加価値の創出に向けた取組が必要
農業	<u>基幹的農業従事者数</u> (2010年→2020年) 嘉飯桂：▲14.5% 県全体：▲25.8%	<ul style="list-style-type: none">・ 基幹的農業従事者数は過去10年間で15%近く減少しており、雇用導入の推進など、人材の確保・育成につながる取組が必要

Ⅲ 地域の強み

○福岡県の中央部に位置、交通の利便性

- ・福岡県の中央に位置し、面積の約3分の2が森林と耕作地からなる水と緑が豊かな地域
- ・国道200号、201号、211号、322号が交わる交通の要衝であり、福岡市方面へは八木山バイパスも整備されている
- ・福岡市、北九州市等、県内各地へ概ね1時間以内の交通圏

○豊かな地域資源

- ・嘉穂アルプスでの登山、筑豊緑地、いづかスポーツリゾートなどのスポーツ施設などが存在
- ・長崎街道の宿場町として栄え、筑豊炭田の歴史を刻む文化遺産も豊富

○多様な産業構造

- ・高度な技術力を持つものづくり企業やIT企業、情報工学に強みを持つ大学や研究開発支援機関が集積
- ・農業も盛んで、水稻を基幹作物とし、野菜・果樹・花き、酪農・肉用牛肥育、大豆・麦などの複合経営が盛ん

○充実した医療・福祉

- ・医療提供体制や在宅医療・介護の連携体制が充実
- ・子育て支援も手厚く、医療、福祉、子育ての各分野で地域での連携体制が整っている



国道201号八木山バイパス



JR新飯塚駅



カホアルペ



王塚古墳



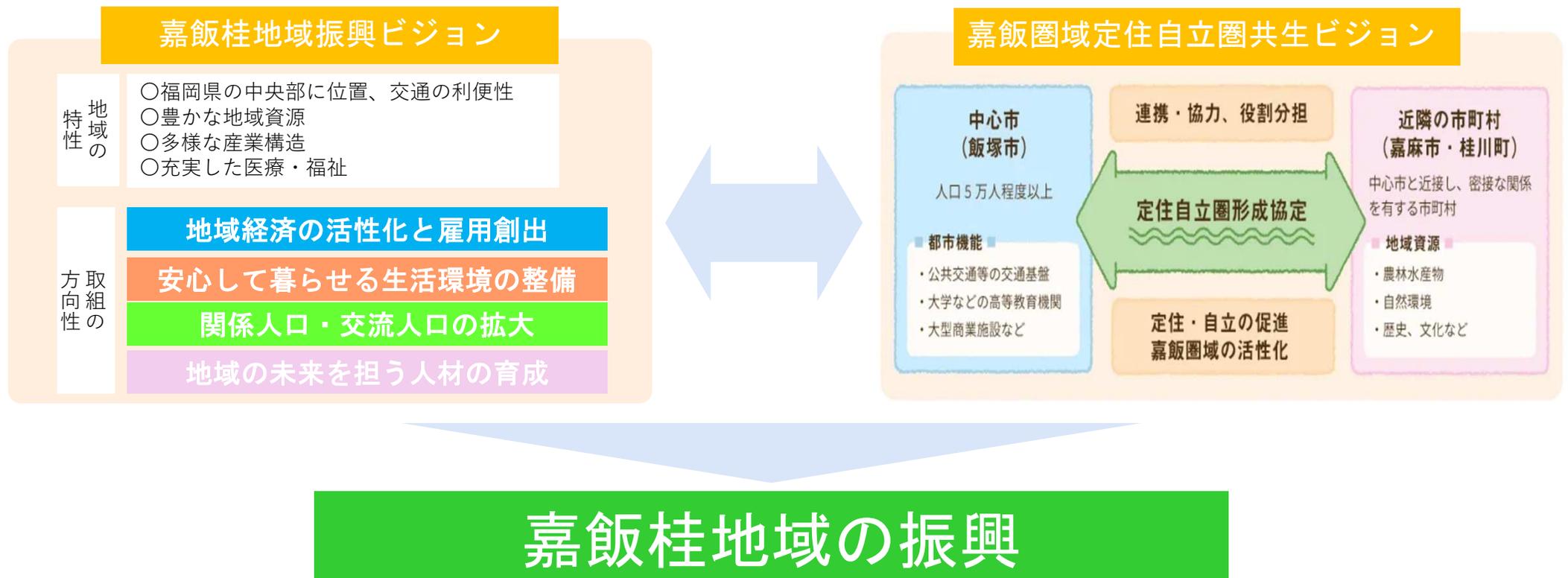
飯塚研究開発センター



嘉穂牛

IV 県の取組の方向性

- 嘉飯桂地域が抱える人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化といった課題に対し、嘉飯桂地域の特性を最大限に活かし、県の取組の方向性を「地域経済の活性化と雇用創出」、「安心して暮らせる生活環境の整備」、「関係人口・交流人口の拡大」、「地域の未来を担う人材の育成」の4つの柱に整理しました。
- この取組の方向性に基づき、現状・課題に応じた様々な取組を進めるとともに、「嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン」と相互補完しながら、嘉飯桂地域の振興を実現します。



1 地域経済の活性化と雇用創出

- 地域に根差した産業の振興と新たなビジネスの創出を促進することにより、地域経済の活性化と多様な雇用の創出を図ります。

(1) 地域経済の活性化、雇用拡大の推進

- ・ 嘉飯桂地域の高度な技術力を持つものづくり企業の集積を活かした医療福祉機器産業の育成や、ITスタートアップ創出を推進します。
- ・ 情報工学に強みを持つ九州工業大学や飯塚研究開発センター、医療機関との連携により新規事業を創出します。
- ・ 広域交通を担う基幹的な道路、企業誘致の促進や物流の効率化に向けた戦略的な道路の整備を推進します。

(2) 安定的な雇用確保と若年世代の定着促進、地域外への転出抑制

- ・ 地域産業の競争力を強化するとともに、多様な就業機会を創出します。

(3) 地元産業の活性化と雇用の創出・拡大

- ・ ブランド化、6次産業化等による農林業の収益力の強化と担い手の確保に取り組みます。
- ・ 中小企業の経営基盤強化を推進します。

2 安心して暮らせる生活環境の整備

- 住民が安全で快適に暮らし続けられるよう、医療、福祉、子育て支援、交通インフラの充実を通じて、生活環境の向上を図ります。

(1) 住民が長く安心して暮らせる地域を形成

- ・ 持続可能な医療提供体制の構築や地域包括ケアシステムの更なる推進を図ります。
- ・ 気象変動による水災害リスクの増大に備え、流域治水を推進します。
- ・ ワンヘルス理念の普及や環境保全の取組を推進します。

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境の実現

- ・ 妊娠・出産から子育て期までの切れ目ない支援を行います。
- ・ 出会い・結婚応援、多様な保育ニーズへの対応、教育環境の充実を図ります。

(3) 地域外からの転入と定住を促進

- ・ 公共交通の維持や買い物弱者対策を含む生活に係る社会基盤を構築します。
- ・ シティプライドの醸成、地域コミュニティ活動の活性化などを通じ、地域コミュニティのつながりを強化し、住みやすい地域づくりを推進します。

3 関係人口・交流人口の拡大

- 嘉飯桂地域が持つ多様な魅力を積極的に活用し、広く情報発信していくことにより、地域外からの人の流れを創出し、地域の活性化と持続的な発展を目指します。

(1) 周遊観光や観光消費の拡大

- ・ 旧伊藤伝右衛門邸や嘉穂劇場といった炭鉱関連遺産、王塚古墳や長崎街道などの歴史資源、飯塚国際車いすテニス大会が開催される筑豊緑地やいづかスポーツ・リゾート、K-WALLといったスポーツ関連施設、豊かな自然、多様な食文化や農産物など特色ある地域資源を活用し、周遊観光や観光消費の拡大につながる施策を推進します。

(2) 地域の魅力を活かした移住・定住事業の推進

- ・ 交通の要衝である地の利、豊かな自然環境、多様な文化・観光資源及び充実した医療・福祉体制などを強みに、移住・定住の推進を図ります。

(3) 広域的な情報発信

- ・ 関係市町との連携のもと、県の発信力を最大限に活用し、嘉飯桂地域の魅力を積極的に発信します。

4 地域の未来を担う人材の育成

- 持続可能な地域づくりや地域経済の発展を担う人材を育成します。

(1) 地域づくりを担う人材の育成

- ・自治体職員や地域づくりに取り組む人材の資質向上に取り組むとともに、これからの嘉飯桂地域の地域づくりを担う人材の育成に取り組みます。

(2) 地域経済の発展を担う人材の育成

- ・「産」「学」「医」の連携事業による新たな人材の創出や農業者への支援等を通じて地域経済の発展を担う人材の育成に取り組みます。

V 今後の展望

嘉飯桂地域の振興については、本ビジョンに基づき、嘉飯桂地域が抱える課題を踏まえ、魅力ある地域を創出することを目指して、「嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン」の取組と相互に補完しながら取り組みます。

県全体の地方創生の実現のためには、県内各地に「極」をつくり、福岡都市圏への一極集中の流れを変える必要があります。県では、関係市町との広域的な連携のもと、嘉飯桂地域の強みを活かした取組を進め、嘉飯桂地域に一つの「極」をつくることを目指します。